

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

公表年月：2023年3月
事業所名：ピノッキー越谷

区分		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○			
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。		○		バリアフリー化に向け、椅子やテーブルの見直しを行いました。
業務改善	④	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			ホームページにて公表しております。 (https://www.lankuuno.jp/)
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	今後必要に応じて法人として導入を検討して参ります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、発達支援計画を作成しているか。	○			標準化されたツールは使用しておりませんが、アセスメントやモニタリングの中からご家族とお子様のニーズや想いを大切に した発達支援計画を作成するよう努めています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		○		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる発達支援計画を作成しているか。	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			全スタッフが参加する毎月のミーティングにおいて事例検討を行っています。また、活動内容が固定化しないよう努めています。また、毎日の申し送りでも子どもたちの成長や変化を共有するよう努めています。
適切な 支援の 提供	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○			学校での引き渡し及び放課後等デイサービスに向けた連絡会へ参加するなど情報共有を積極的に行っております。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。		○		医療的ケアが必要な児童の利用はありません。

区分		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉔	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		必要に応じて就学前に利用していた施設との連携を図るよう努めます。
	㉕	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		保護者や相談支援員を介しての情報共有を行っております。
	㉖	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。		○		引き続きオンラインでの研修受講等をおこなっております。
	㉗	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		○		近隣の公園では障害の有無にかかわらず、子どもとの交流が自然な形で生まれています。 コロナ禍であるため公共施設の利用については控えておりますが、感染状況等を踏まえ公共施設の利用等の再開を検討します。
	㉘	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		必要に応じて協議会等への参加を検討します。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。		○		対面での面談は中止しておりますが、その他の方法でお子様の成長や状況の共有を図っております。送迎時をはじめとした日々の関わりを大切に、ご家族の想いに寄り添った支援を行えるよう努めます。
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	㉜	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	㉝	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	保護者参加型のイベントを含め、感染状況を考慮しながら来年度以降検討します。
	㉞	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	㉟	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			定期的に保護者向けに日頃の子どもの写真や様子を載せたお知らせの配布、ブログでの発信をおこなっております。
	㊱	個人情報に十分注意しているか。	○			
	㊲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	㊳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	地域住民を招待したイベント等は開催できておりませんが、日々の活動や関わりのなかで地域での認知向上につながるよう努めて参ります。
非常時等の対応	㊴	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○			緊急時対応等について、保護者への周知方法を検討します。
	㊵	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			火災時の通報及び消火訓練、地震を想定した避難訓練を年2回行なっております。
	㊶	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待防止委員会を設置し、定期的に又は適時、委員会を開催することで虐待防止に努めております。合わせて虐待防止にかかる研修を定期的に実施しております。
	㊷	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、発達支援計画に記載しているか。	○			身体拘束については行っておりませんが、止むを得ず行わなければならない状況が予想される場合には、事前に個別支援計画書に記載し必要性について保護者にご説明します。
	㊸	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食物アレルギーに関しては、医師の指示がある児童の利用はありません。
	㊹	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しています。